

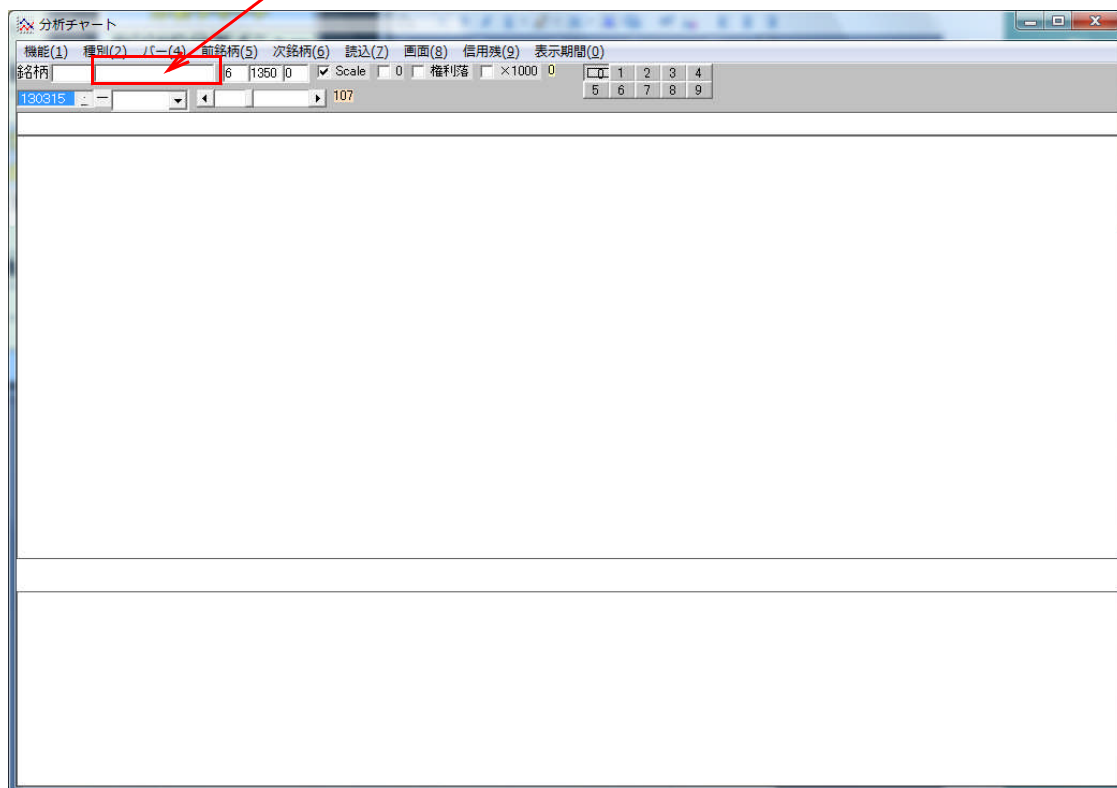
「知っておくと便利な機能（分析チャート編）」

JP法研究会 富士栄

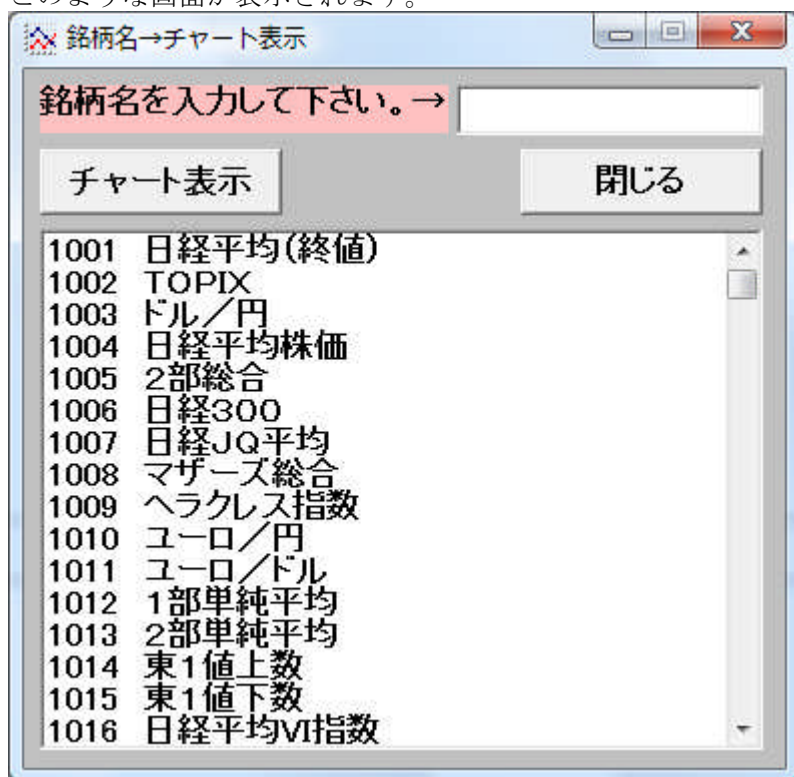
「分析チャート」からの個別銘柄のチャート表示の方法は、通常コード番号を入力しますが、銘柄名は分かっているがコード番号が分からない・・・といった場合もあるかと思えます。

そういう時は、銘柄名から、チャートを表示させる機能を使いましょう。

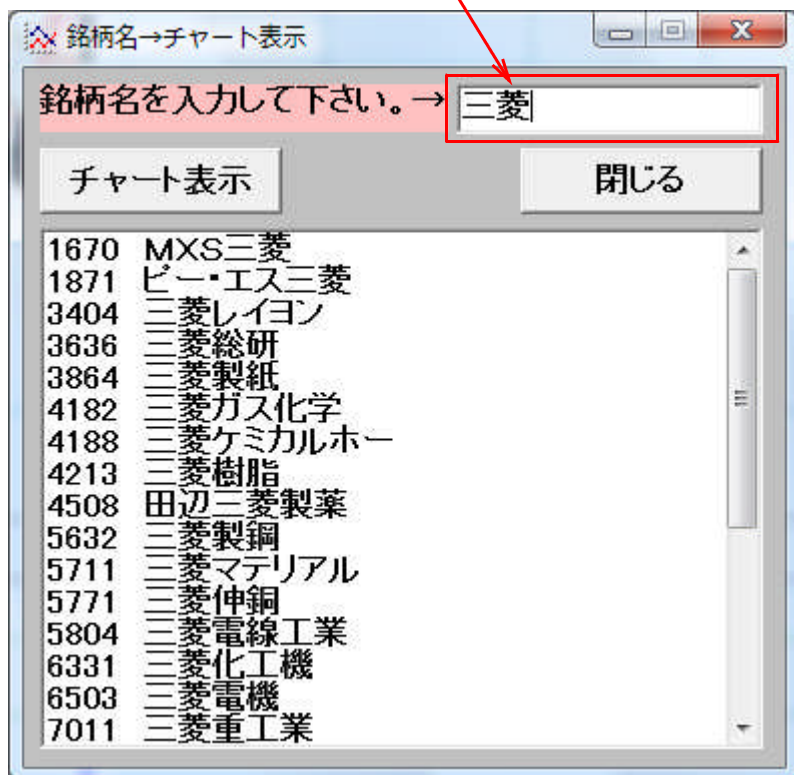
まず、分析チャートのこの部分をダブルクリックします。



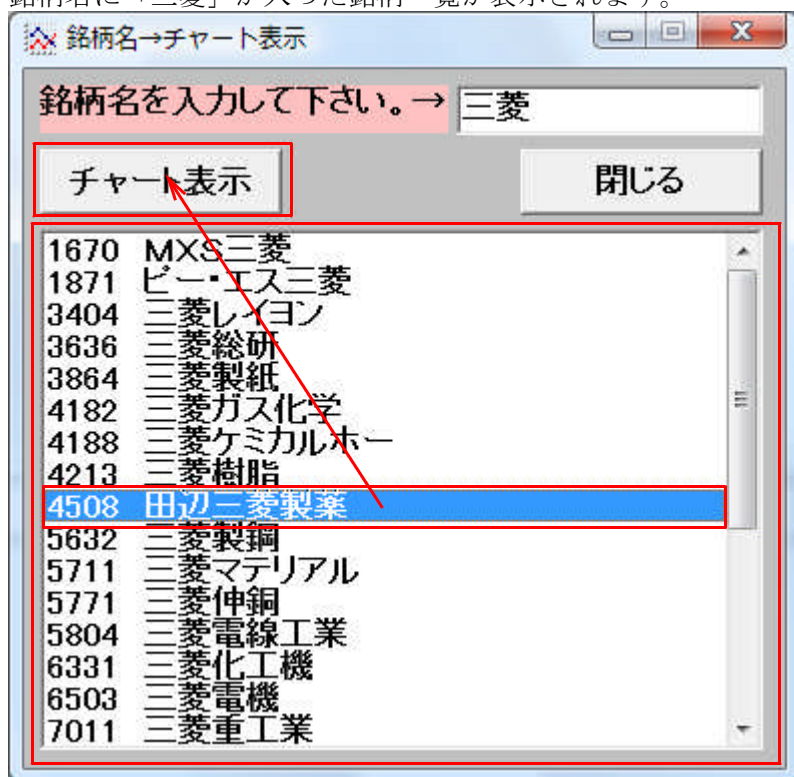
このような画面が表示されます。



次に、ここに日本語を途中まででもいいですから入力してください。
例. 「三菱」



銘柄名に「三菱」が入った銘柄一覧が表示されます。



この中から、例えば、「4508 田辺三菱製薬」を選択し、「チャート表示」をクリックしてください。

対象の銘柄が表示されます。



自分が見やすいと思ったローソク足のサイズを維持するには・・・？

ここの数値を変更します。



「10」に変更し、「読込」をクリックしてください。ローソク足が大きくなります。

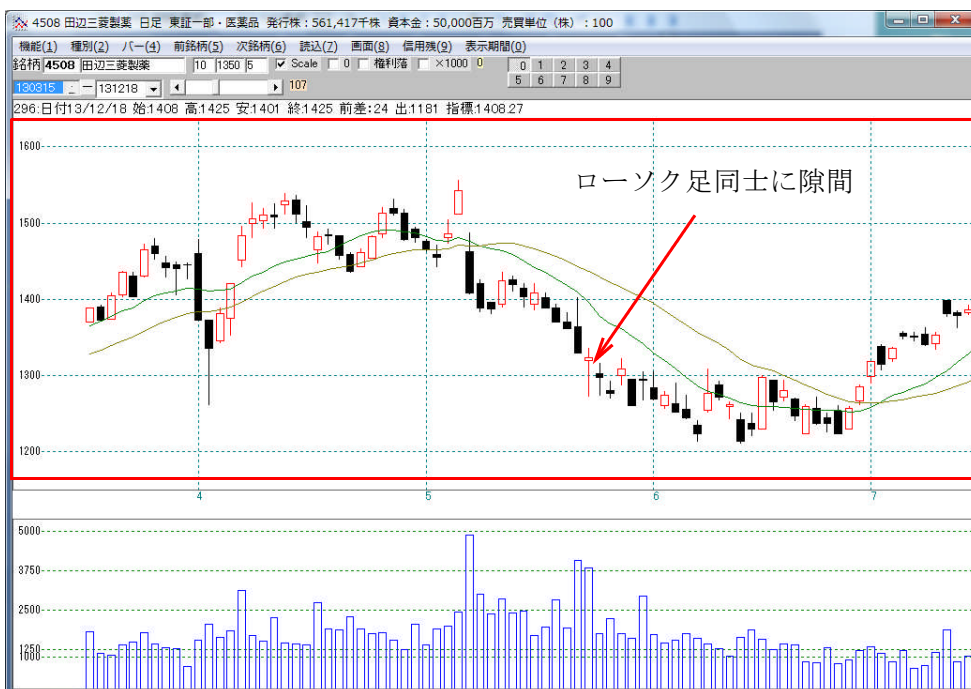


ローソク足同士の上に隙間が欲しい時は・・・？

ここを変更します。



「5」に変更し「読込」をクリック。隙間が出来た事が分かります。

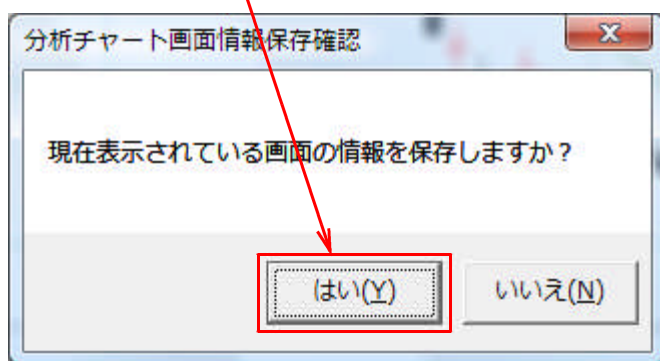


次回、分析チャート起動時にもこの設定を維持したい場合には・・・？

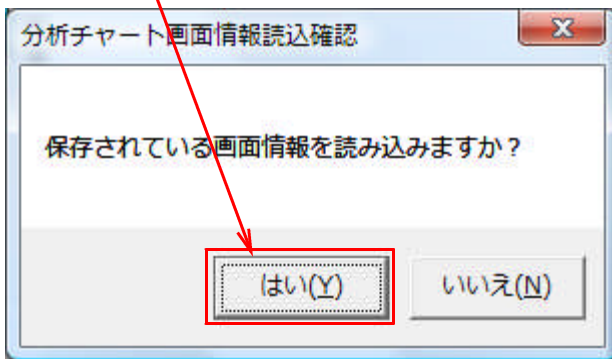
「機能」－「終了」をクリックします。



下記の表示で、「はい」をクリックします。



そして、次回「分析チャート」の起動時に
「はい」をクリックします。



「1004 日経平均」を表示させてみました。



このようにローソク足の大きさは、大きくなり、ローソク足同士に隙間が出来ていることが分かります。

この表示のままでは過去ですから、これを直近表示にします。

このスクロールバーをクリックしてください。右方向です。



スクロールしていくたびに、直近表示にだんだんとなります。

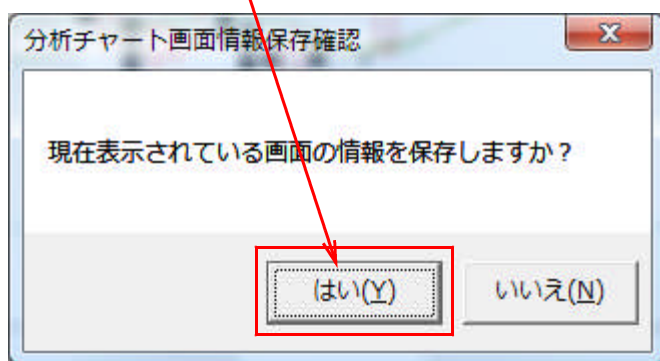


次回起動時にも直近表示とする場合は、先と同様に、

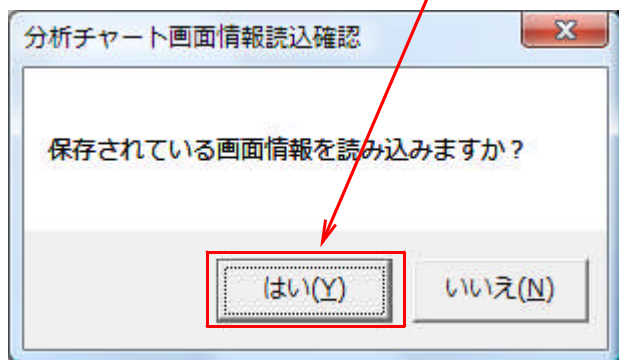
「機能」－「終了」をクリックします。



そして再び、「はい」をクリック。



分析チャートを起動させて、「はい」をクリック



「9984 ソフトバンク」を表示させてみました。

ローソク足の大きさ、隙間、そして直近からの表示となっていますね。



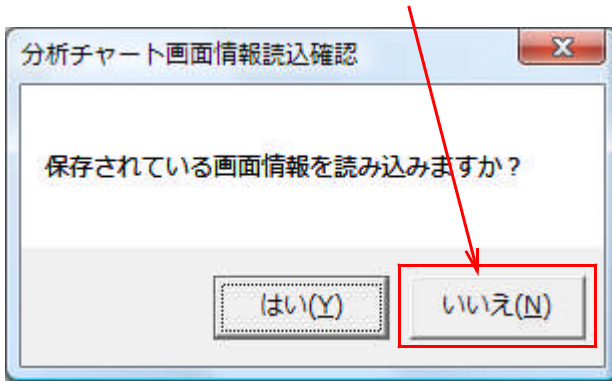
これらの設定は、銘柄ごとではなく、全ての銘柄に当てはまります。

1つ1つの銘柄ごとに表示を変更する事は出来ません。

ローソク足の表示とか、隙間を色々変更して、訳が分からない表示となってしまった場合、元に戻す、つまり初期値する事が出来ます。

この方法は、こうします。

「分析チャート」起動から「いいえ」をクリックしてください。



「1004 日経平均」を表示させてみました。

この表示がソフトにあらかじめ設定されている初期値です。

